

HP 制作企画書

なぜ HP が必要なのでしょう？

ビジネスシーンで取引先のホームページをあらかじめチェックしておく。一般の消費者がお店を訪問する前にホームページを確認する。これらは今ではごく当たり前の行動になりました。逆にホームページを持っていない会社は厳しい目で見られてしまいます。

企業ホームページは、インターネットで検索してくれた人にお渡しする名刺であると考えてください。顧客はきちんとした名刺も無い会社を信用して取引したいと思うのでしょうか？あるいは、企業ホームページはネット上の看板にもたとえられます。看板も表に出していない店にはなかなか積極的に入りづらいものです。

企業にとってホームページは、「インターネット上で、会社の情報を発信する」ための道具です。ホームページを使って情報発信を行えば、サイトを見たユーザーに企業のブランドイメージを伝えることができます。インターネット上で企業のブランドイメージを確立するためには、ホームページは必要不可欠です。

HP の必要性

世の中にインターネットが登場して以来、私たちの生活は大きく変わりました。ニュース、勉強、コミュニケーション、映像など情報を取得する手段として、また企業や団体、個人にとっては情報発信ツールとしてホームページは欠かせないものになっています。

iPhone や iPad などのスマートフォン、タブレットの登場でホームページの重要度がさらに増えています。『レンタカーを借りたい』と思ったときに最初にする行動がスマホやパソコンでインターネットの検索です。利用者が求めるものは様々です。料金の安い車、乗りたい車など。検索で企業ホームページが出てこなければ、会社の存在自体を認知してもらえないため戦う前からライバル企業に負けてしまいます。

昨今の情勢下で企業として生き抜いて行くためにホームページは絶対に必要なツールです。

HP のメリット

基本的にインターネットの利用者は、自分の好きな時間にホームページにアクセスして必要な情報を閲覧したり、ショッピングをしたりしています。たとえ深夜だろうが早朝だろうが、自分の都合に合わせてアクセスできるのがインターネットのメリットなのです。

昔は「ホームページを持っているお店・会社はすごい」とステータスにもなっていましたが、現在の世間での認識は違います。

- ホームページがないとか怪しい。
- 目当ての店を検索したら違うお店が出てきて、そっちに行ってみた。
- 店に入る前にホームページで料金がわかっていないと不安。

この様な利用者の観点からホームページがある企業ではコンプライアンスに基づく透明性のあるクリーンな企業のイメージを植え付ける事が出来ます。

集客率の上昇

ホームページを持つことでの1番の直接的なメリットが「新規顧客獲得」でしょう。

以前は企業も新しくパイプを作る時、”タウンページ”などのサービスをよく使っていました。しかし今ではそれがインターネットに取って代わられています。お店を探す時は、まずスマホで検索という消費者は年々増えてきています。つまりインターネットに露出していないということは、それだけ新規客を逃しているということにもなります。

新規だけではなく、既存顧客（常連・リピーター）を定着させるためにもホームページは役立ちます。ホームページ上にクーポンやキャンペーン・イベントなどの情報を載せることで、既存顧客はそれをチェックしてくれるようになります。

モチベーション向上

意外かもしれませんが、ホームページを運営することでモチベーションが上がるということは非常によくあります。ホームページを作るために自社情報をまとめるという作業の中で、自社の問題点を見つけたという方もよくいます。

モチベーションを目的としてHP制作に着手する人はいないでしょうが、副作用として実際にモチベーションアップ効果があったという声はあるので、頭の片隅に置いておいても良いかもしれません。

利用者からの問い合わせ

簡単な質問には口頭での説明のみで十分でしょうが、中には言葉で説明するのが難しく「商品・サービスの写真や動画を見てもらえれば簡単なのになあ・・・」という内容もあるはずです。「百聞は一見に如かず」の言葉どおり、ホームページの説明を見てもらえればすぐに理解してもらえることでも、ホームページが無ければ社員が電話で説明しなければなりません。

電話対応の非効率化による労力と人件費の浪費は、あまり目立ちませんが、じわじわと会社に影響を与えていきます。

情報の発信

利用者の必要な情報もホームページ上で発信出来ます。例えばGWにキャンペーンや期間割引など発信すれば利用者の更なる獲得を期待できます。

情報を発信することで営業力の向上が見込めます。

従来の広告や雑誌等に載せていたPR費用などもホームページからの情報発信によりかなり削減が見込まれ費用対効果の成果も広がります。

店舗へのアクセス

今までは電話での問い合わせで説明しにくい場所などホームページに住所や地図を載せることにより店舗の所在地が容易に見つけられるようになります。

企業ホームページがないデメリット

現在日本のインターネット利用者数は1億人を突破し、人口の8割を超えてさらに増加を続けています。

生まれたときからインターネットが身近にある世代も着実に増えており、そう遠くない未来に多数派になるでしょう。

そうすると、これから会社や団体のホームページが無いデメリットは今後ますます大きくなります。

「企業ホームページはあって当たり前」と考える人々の割合が年を追うごとに上昇していくからです。企業ホームページが無いことが売上げや集客に与える影響も、今後さらに深刻化の一途をたどると思われます。